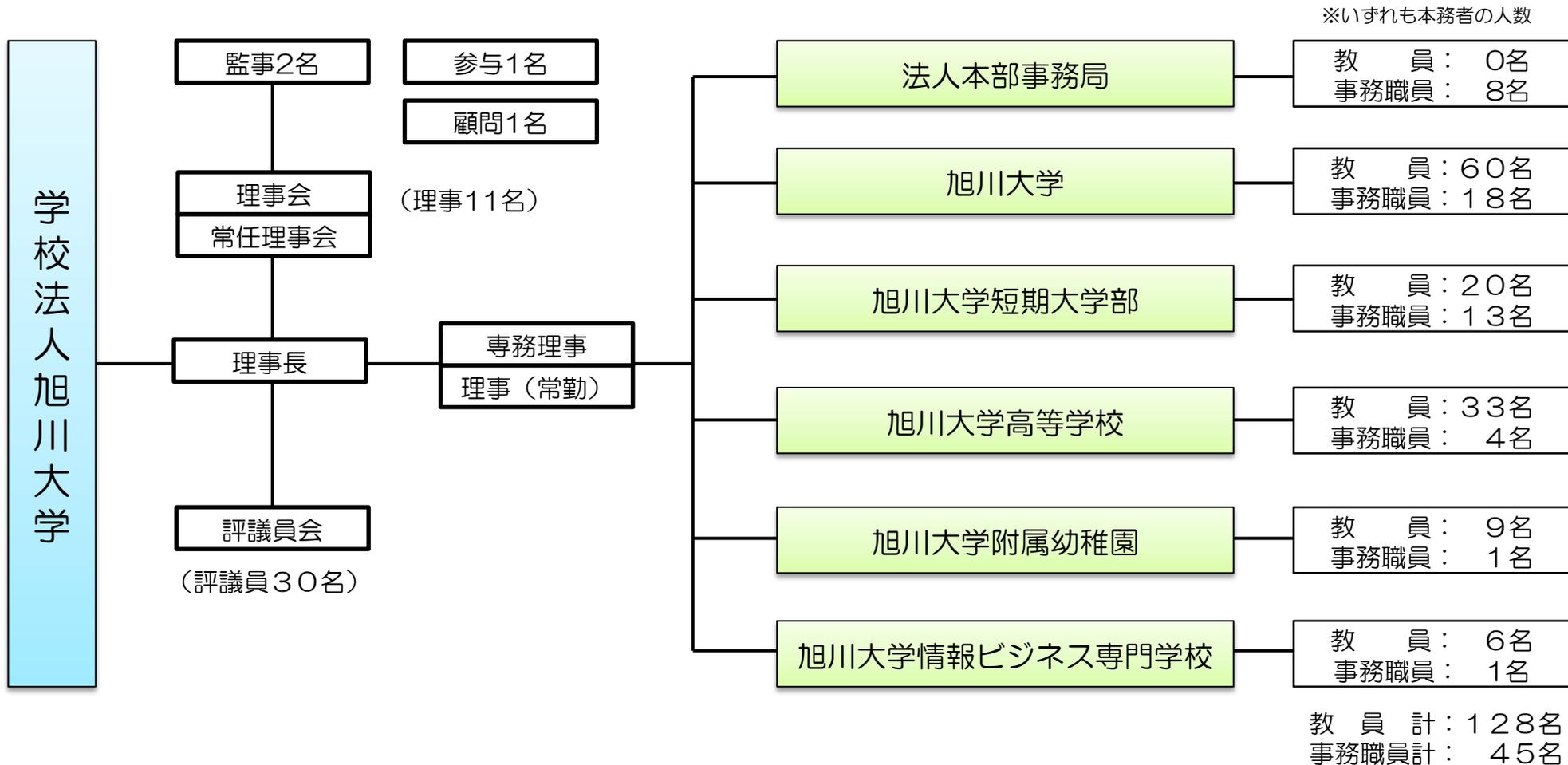


学校法人旭川大学の状況について

組織構成

平成28年5月1日現在の組織構成で、旭川大学ホームページの「役員情報」「教職員情報」を基に、旭川大学の確認を得て作成したもの



学校法人旭川大学の建学の理念、沿革等

<建学の理念>※旭川大学ホームページの「建学の理念」を転載

「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた学園」

<設立目的等>※旭川大学ホームページの「設立目的・ビジョン」を転載

学校法人旭川大学は、北海道北部の拠点である旭川市に位置し、その建学の礎に「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた学園」とした設立理念を掲げている。本学園は旭川大学、旭川大学短期大学部、旭川大学高等学校、旭川大学附属幼稚園、旭川大学情報ビジネス専門学校の5つの学校を有し、地域社会に求められる自立した人材の育成及び教育活動に当たると同時に、地域の経済・文化の振興に資する研究啓発、社会貢献活動に努めている。

<アクセス>※下図は、旭川大学ホームページのアクセスマップを転載

JR：旭川駅から宗谷本線（普通列車）永山駅で下車（所要約15分）

永山駅から旭川大学まで徒歩約15分

バス：旭川駅前から道北バスに乗車し、旭川大学前で下車（所要約30分）

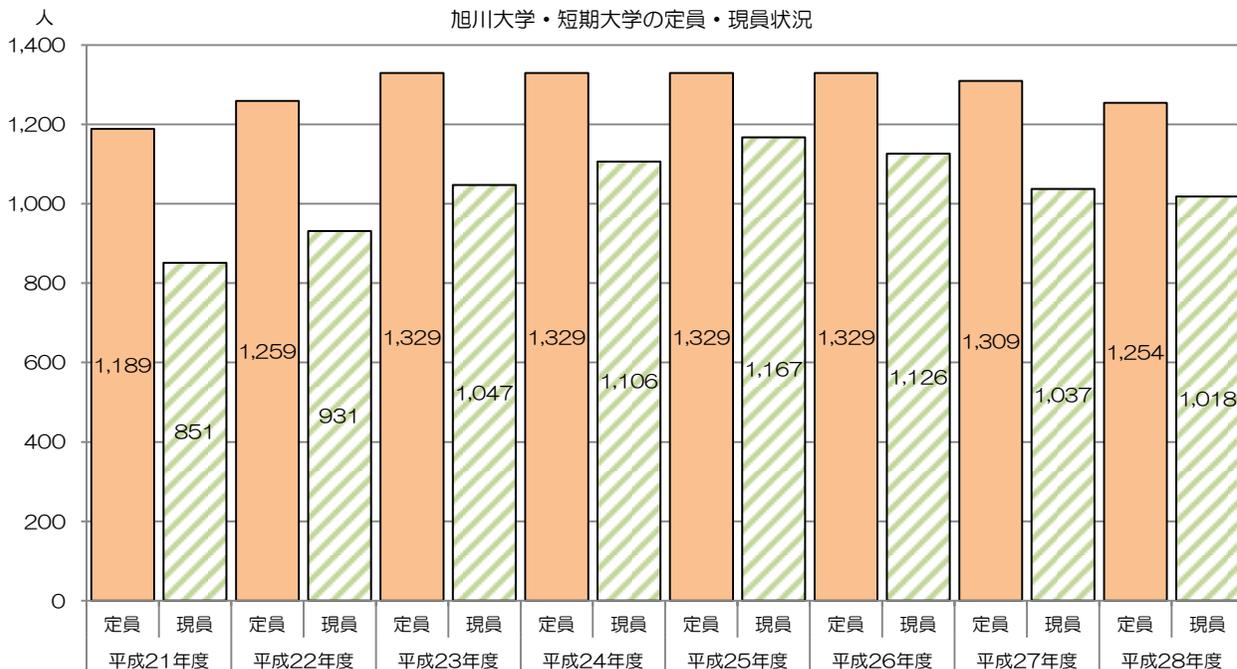


<沿革>※旭川大学ホームページの「学園の主な沿革」を転載

明治	31年(1898年)10月	旭川裁縫専門学校として発足（創設者 沢井兵次郎）
	37年(1904年)6月	旭川裁縫女学校と改称
	41年(1908年)4月	旭川女学校と改称
大正	4年(1915年)12月	旭川女学校付属旭幼稚園を開設
	13年(1924年)4月	旭川女学校を旭川実科高等女学校と改称
昭和	18年(1943年)4月	旭川共立高等女学校と改称
	23年(1948年)4月	財団法人旭川共立学園を設立(法人) 旭川共立女子高等学校と改称(高校)
	26年(1951年)3月	学校法人旭川共立学園と変更(法人)
	27年(1952年)4月	旭川女子高等学校と改称(高校)
	39年(1964年)4月	旭川日本大学高等学校（女子部・男子部）と改称(高校) 旭川女子短期大学家政科を開設（短大）
	41年(1966年)4月	家政科を家政専攻に改称し、食物栄養専攻を増設(短大) 学校法人北日本学院大学と改称(法人) 北日本学院大学高等学校と改称(高校)
	43年(1968年)4月	北日本学院大学女子短期大学部と改称(短大) 北日本学院大学（経済学部経済学科）を開設(大学) 大学附属図書館設置
	44年(1969年)4月	幼児教育学科を増設(短大) 学校法人旭川大学と改称(法人) 旭川大学高等学校と改称(高校)
	45年(1970年)5月	旭川大学女子短期大学部と改称(短大) 旭川大学と改称、経済学部第二部を増設(大学) 旭川大学附属幼稚園設置(4月)、改称(5月)
	49年(1974年)4月	経済学部第一部に貿易学科を設置(大学) 専攻科幼児教育専攻を設置（短大）
	52年(1977年)4月	旭川大学地域研究所設置 高校女子部・男子部の統合
	62年(1987年)4月	家政科を生活学科に名称変更(短大) 旭川大学情報ビジネス専門学校を開設
	63年(1988年)1月	大学情報処理・視聴覚教育センター（現・情報教育研究センター）設置
平成	9年(1997年)12月	経済学部第一部貿易学科及び第二部を廃止(大学)
	10年(1998年)4月	女子短期大学部に専攻科福祉専攻を設置（短大）
	11年(1999年)4月	大学院修士課程経済学研究科を開設
	13年(2001年)4月	経済学部経済法学科を設置(大学) 経済学部経済法学科を募集停止(大学)
	20年(2008年)4月	経済学科を経営経済学科へ名称変更(大学) 保健福祉学部コミュニティ福祉学科を設置(大学) 保健福祉学部保健看護学科を設置(大学)
	23年(2011年)4月	男女共学への移行に伴い、旭川大学短期大学部へ名称変更（短大）
	25年(2013年)4月	旭川大学女子短期大学部開学50周年 旭川大学開学45周年 旭川大学大学院開学15周年

大学と短期大学の在籍者の状況（全体）

	年度	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	年次	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
大学	1年次	220	198	220	191	220	214	220	199	220	200	220	154	200	201	200	181
	2年次	220	172	220	188	220	185	220	215	220	193	220	206	220	154	200	200
	3年次	150	76	220	160	220	166	220	158	220	192	220	182	220	195	220	141
	4年次	150	81	150	77	220	162	220	183	220	177	220	204	220	187	220	201
大学院	1年次	7	3	7	2	7	4	7	3	7	6	7	1	7	4	7	1
	2年次	7	5	7	4	7	4	7	6	7	7	7	11	7	8	7	6
短大	1年次	200	158	200	147	200	159	200	186	200	186	200	157	200	123	200	170
	2年次	200	145	200	152	200	139	200	149	200	173	200	194	200	152	200	118
	専攻科	35	13	35	10	35	14	35	7	35	13	35	17	35	13	—	—
合計		1,189	851	1,259	931	1,329	1,047	1,329	1,106	1,329	1,167	1,329	1,126	1,309	1,037	1,254	1,018
定員-現員		338		328		282		223		162		203		272		236	



- 大学の平成21年度定員数は150人と220人の2区分となっているが、これは平成20年度に保健福祉学部の新設に伴う定員増によるもの。
- 大学及び短期大学全体の定員は、平成23年度から同26年度まで1,329人であったが、同27年度から大学の入学定員を20人減としている。
- 平成28年度からは、短期大学部専攻科を廃止したことに伴い、全体の定員は1,254人となり、直近の最大定員数1,329人と比べて75人の定員減となっている。
- 現員が定員を超えているのは、上表に網掛けしている部分である。

大学と短期大学の在籍者の状況（詳細）

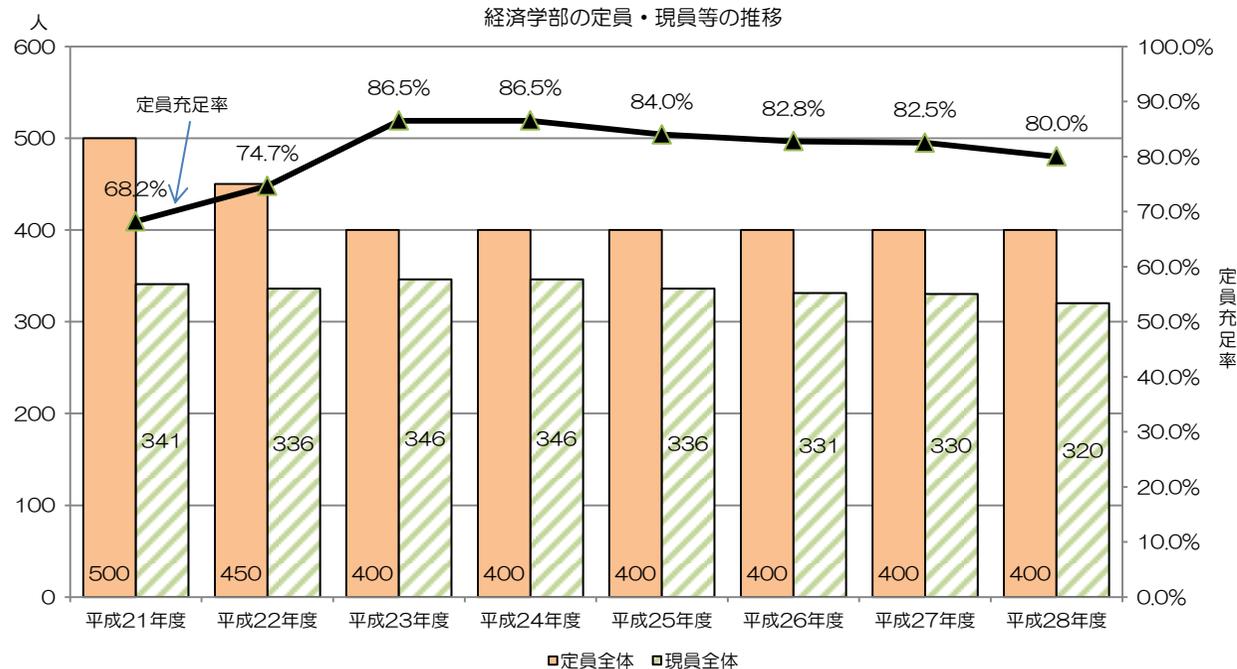
旭川大学（経済学部）

経営経済学科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	400	400	400	400	400	400	400	400
現員全体	282	311	342	343	335	331	330	320
定員充足率	70.5%	77.8%	85.5%	85.8%	83.8%	82.8%	82.5%	80.0%

経済法学科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	100	50	—	—	—	—	—	—
現員全体	59	25	4	3	1	—	—	—
定員充足率	59.0%	50.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※経済法学科は、平成20年度から学生募集を停止しており、平成25年度末で学科を廃止

経済学部全体	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	500	450	400	400	400	400	400	400
現員全体	341	336	346	346	336	331	330	320
定員充足率	68.2%	74.7%	86.5%	86.5%	84.0%	82.8%	82.5%	80.0%



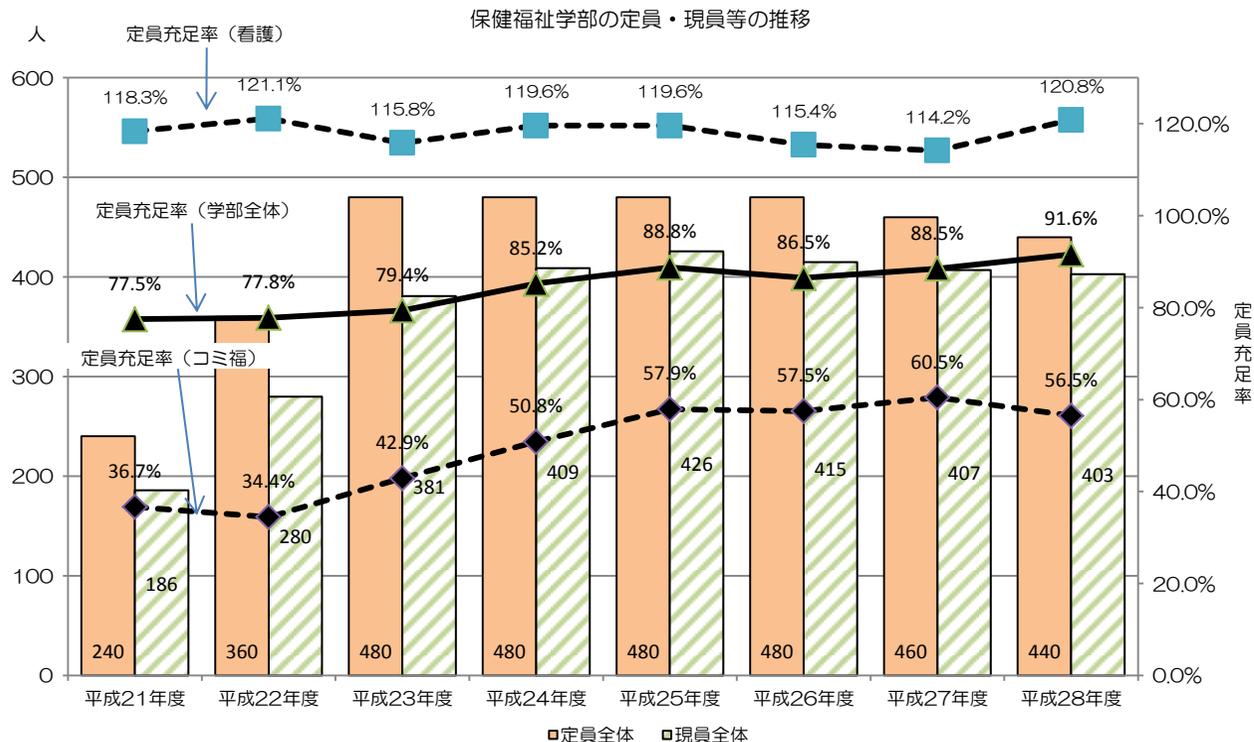
- ・経済学部は、平成19年度まで2学科制であったが、同20年度より経済法学科の募集を停止したことで定員数が減となり、平成23年度以降は1学科400人の定員となっている。
- ・経済法学科在籍者の大半が卒業した平成23年度以降の定員充足率は、80%前半から半ばで推移している。
- ・平成28年度の定員充足率は80.0%であり、平成23年度以降でみると一番低い数値となっている。
- ・平成21年度以降でみると、経済学部の現員が定員を超えたことはない。

旭川大学（保健福祉学部）

コミュニティ福祉学科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	120	180	240	240	240	240	220	200
現員全体	44	62	103	122	139	138	133	113
定員充足率	36.7%	34.4%	42.9%	50.8%	57.9%	57.5%	60.5%	56.5%

保健看護学科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	120	180	240	240	240	240	240	240
現員全体	142	218	278	287	287	277	274	290
定員充足率	118.3%	121.1%	115.8%	119.6%	119.6%	115.4%	114.2%	120.8%

保健福祉学部全体	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	240	360	480	480	480	480	460	440
現員全体	186	280	381	409	426	415	407	403
定員充足率	77.5%	77.8%	79.4%	85.2%	88.8%	86.5%	88.5%	91.6%



- ・保健福祉学部は平成20年度に新設された学部で、コミュニティ福祉学科（社会福祉士・精神保健福祉士養成）と保健看護学科（看護師・保健師養成）の2学科で構成しており、新設当初の定員は240人としている。
- ・平成27年度から、コミュニティ福祉学科の入学定員を60人から40人としている。
- ・コミュニティ福祉学科の定員充足率を平成21年度以降で見ると、平成27年度の60.5%が最高で、最近5年間の状況としては50%台で推移している。
- ・保健看護学科の定員充足率は110%台で推移しており、平成28年度は120.8%と平成21年度以降では最高となっている。
- ・保健福祉学部全体での定員充足率は80%台で推移しており、平成28年度は91.6%である。

旭川大学大学院

経済学研究科	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	14	14	14	14	14	14	14	14
現員全体	8	6	8	9	13	12	12	7
定員充足率	57.1%	42.9%	57.1%	64.3%	92.9%	85.7%	85.7%	50.0%

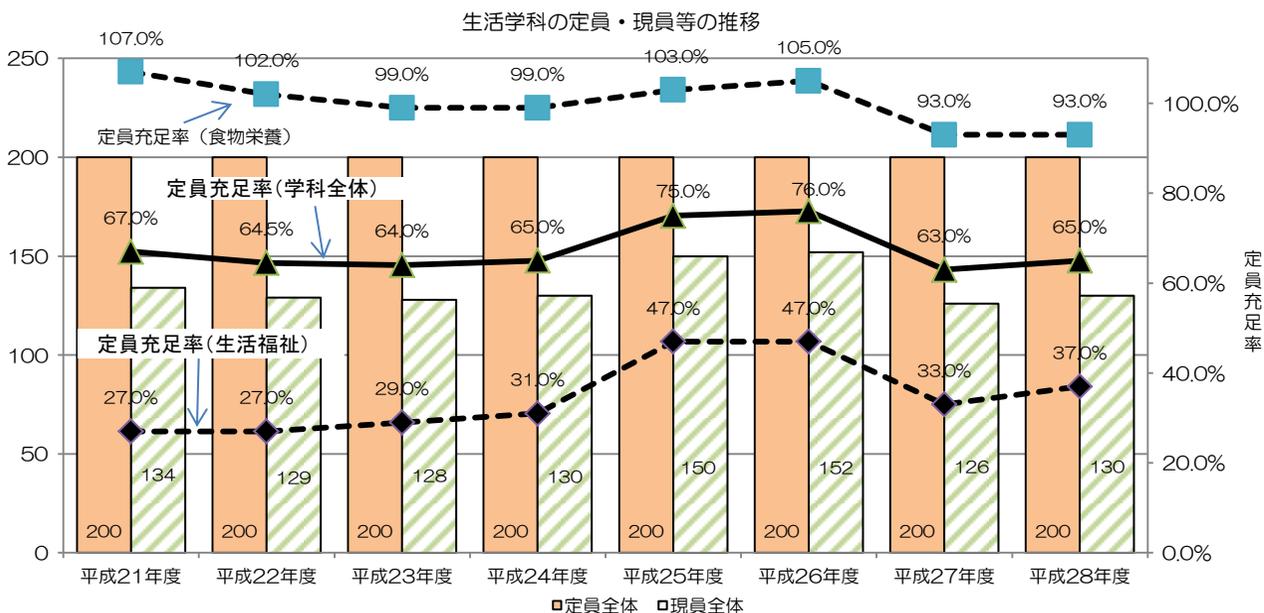
旭川大学短期大学部（生活学科）

H28.5.1

生活福祉専攻	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	100	100	100	100	100	100	100	100
現員全体	27	27	29	31	47	47	33	37
定員充足率	27.0%	27.0%	29.0%	31.0%	47.0%	47.0%	33.0%	37.0%

食物栄養専攻	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	100	100	100	100	100	100	100	100
現員全体	107	102	99	99	103	105	93	93
定員充足率	107.0%	102.0%	99.0%	99.0%	103.0%	105.0%	93.0%	93.0%

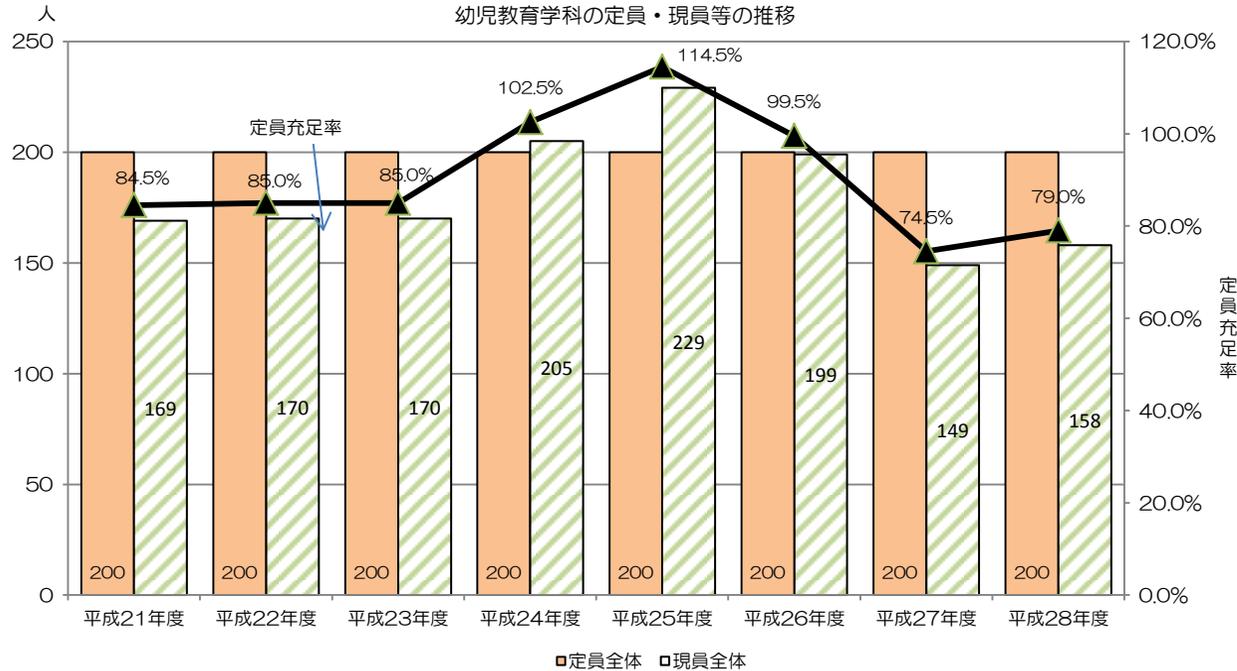
生活学科全体	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	200	200	200	200	200	200	200	200
現員全体	134	129	128	130	150	152	126	130
定員充足率	67.0%	64.5%	64.0%	65.0%	75.0%	76.0%	63.0%	65.0%



- 短期大学部の生活学科は、生活福祉専攻（介護福祉士養成）と食物栄養専攻（栄養士養成）の2専攻で構成しており、定員は200人である。
- 生活福祉専攻の定員充足率を平成21年度以降で見ると、平成25・26年度の47.0%が最高で、この2年分を除いた最近5年間の状況としては30%台で推移している。
- 食物栄養専攻の定員充足率は100%前後で推移しており、平成28年度は93.0%である。
- 生活学科全体の定員充足率は60～70%台で推移しており、平成28年度は65.0%である。

旭川大学短期大学部（幼児教育学科）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	200	200	200	200	200	200	200	200
現員全体	169	170	170	205	229	199	149	158
定員充足率	84.5%	85.0%	85.0%	102.5%	114.5%	99.5%	74.5%	79.0%



- 短期大学部の幼児教育学科（幼稚園教諭・保育士養成）に専攻の区分はなく，定員は200人である。
- 幼児教育学科の定員充足率を平成21年度以降で見ると，80%台から上昇し続け，平成25年度の114.5%が最高となったが，以降は下降傾向にあり，最近2年間は70%台で推移している。

旭川大学短期大学部（専攻科）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員全体	35	35	35	35	35	35	35	—
現員全体	13	10	14	7	13	17	13	—
定員充足率	37.1%	28.6%	40.0%	20.0%	37.1%	48.6%	37.1%	#DIV/0!

教員の状況

旭川大学及び旭川大学短期大学の職階別教員数（平成28年5月1日現在）

大学名学部学科等	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計 (本務者)
旭川大学経済学部	13	6	0	2	0	21
旭川大学保健福祉学部	14	14	0	5	6	39
旭川大学短期大学部	9	6	0	5	0	20
合計	36	26	0	12	6	80

※上記の表は、旭川大学ホームページの「職階別教員数」を基に作成したもの

- ・教員1人当たりの学生数は、経済学部15.2人、保健福祉学部10.3人、短期大学部14.4人（生活学科12.6人、幼児教育学科14.9人）である。

旭川大学及び旭川大学短期大学の年齢別教員数（平成28年5月1日現在）

大学名 学部学科等	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
旭川大学経済学部	0	5	4	6	3	3	21
旭川大学保健福祉学部	0	10	8	10	11	0	39
旭川大学短期大学部	0	5	4	4	6	1	20
合計	0	20	16	20	20	4	80

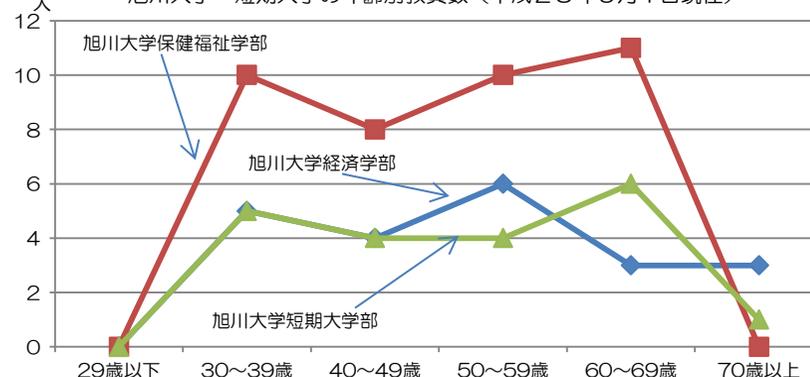
※上記の表は、旭川大学ホームページの「年齢別教員数」を基に作成したもの

- ・各学部とも、30代から60代までの年齢バランスはほぼ均等になっている。

旭川大学・短期大学の職階別教員数（平成28年5月1日現在）



旭川大学・短期大学の年齢別教員数（平成28年5月1日現在）



非常勤教員数及び専任教員数との比率（※旭川大学ホームページの「非常勤教員数および専任教員数との比率」を基に作成）

大学名	他大学教員等からの兼務者		教員以外からの兼務者		計		計	専任：非常勤
	男	女	男	女	男	女		
旭川大学	17	5	34	20	51	25	76	1：1.26
旭川大学短期大学部	9	2	19	17	28	19	47	1：2.35

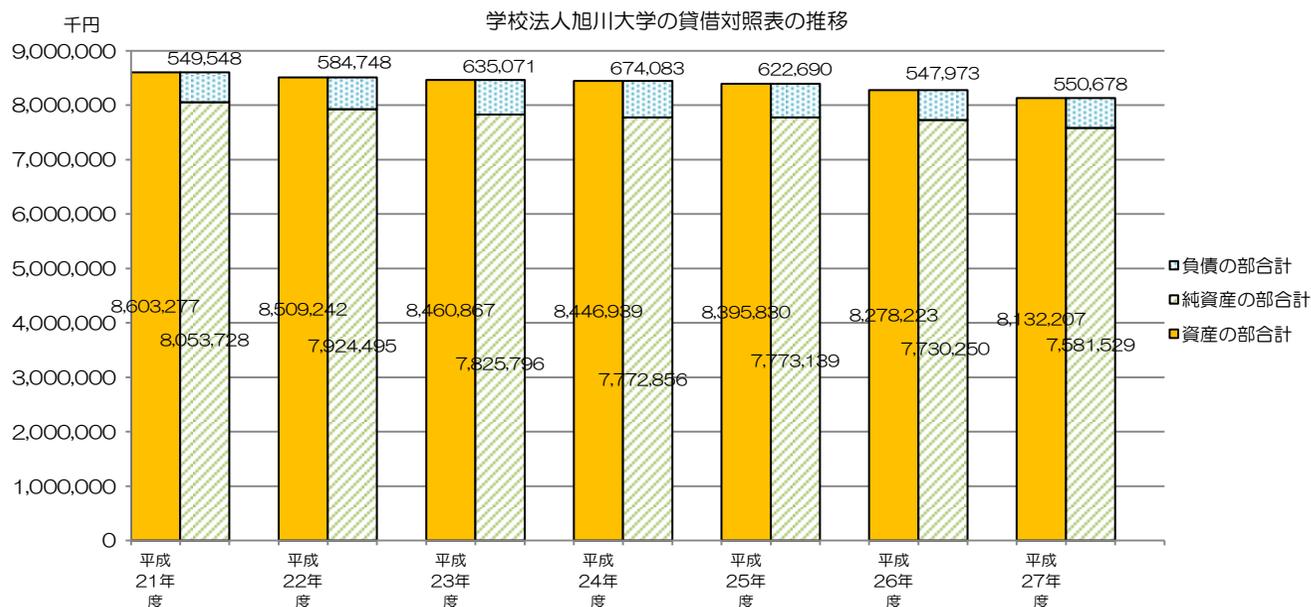
貸借対照表の状況

単位：千円

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資産の部	固定資産	7,615,522	7,447,553	7,374,748	7,328,582	7,425,839	7,108,280	6,939,041
	流動資産	987,755	1,061,689	1,086,119	1,118,356	969,991	1,169,943	1,193,166
	資産の部合計	8,603,277	8,509,242	8,460,867	8,446,939	8,395,830	8,278,223	8,132,207
負債の部	固定負債	33,931	34,626	62,188	47,692	34,068	29,312	22,938
	流動負債	515,618	550,122	572,883	626,391	588,623	518,662	527,740
	負債の部合計	549,548	584,748	635,071	674,083	622,690	547,973	550,678
純資産の部	基本金	9,978,915	10,056,976	10,220,114	9,985,206	10,212,584	10,335,047	10,434,859
	第1号基本金	8,405,895	8,398,508	8,476,649	8,512,731	8,664,756	8,710,870	8,733,309
	第2号基本金	744,265	820,514	896,904	1,270,550	1,345,902	1,422,252	1,499,624
	第3号基本金	640,548	649,747	658,355	13,719	13,719	13,719	13,719
	第4号基本金	188,207	188,207	188,207	188,207	188,207	188,207	188,207
	翌年度繰越収支差額	△ 1,925,187	△ 2,132,481	△ 2,394,318	△ 2,212,350	△ 2,439,445	△ 2,604,797	△ 2,853,331
	純資産の部合計	8,053,728	7,924,495	7,825,796	7,772,856	7,773,139	7,730,250	7,581,529

翌年度繰越収支差額の 前年度差	△ 282,599	△ 207,295	△ 261,836	181,967	△ 227,094	△ 165,353	△ 248,533※
--------------------	-----------	-----------	-----------	---------	-----------	-----------	------------

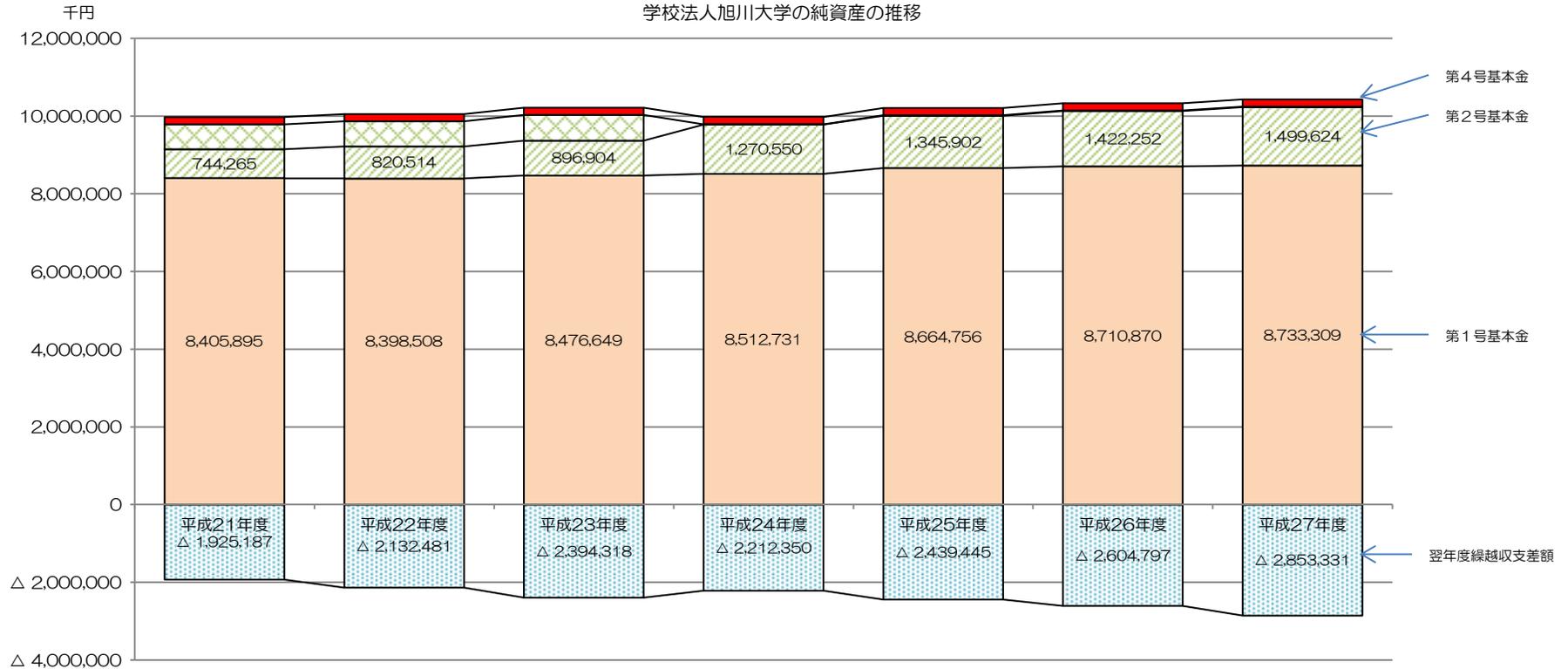
※上の表の数字は、千円未満の端数を四捨五入して表示しているため、「資産の部の合計＝負債の部の合計＋純資産の部合計」とならないことがある。



※上記の表は、旭川大学ホームページの各年度「貸借対照表」を基に作成したもの

- 平成27年度の資産規模は約81.3億円で、同21年度の約86億円と比べると、約5億円減となっている。
- 平成27年度の負債の部は約5.5億円で、同21年度以降1億円程度の増となったことはあるが、ほぼ横ばいである。
- 平成27年度の純資産の部は約75.8億円で、同21年度の約80.5億円と比べると、約5億円の減となっている。

学校法人旭川大学の純資産の推移



※上記の表は、旭川大学ホームページの各年度「貸借対照表」を基に、純資産の部を切り分けて作成したもの

- 第1号基本金、第2号基本金については、ともに平成21年度以降の組み入れ額は増えており、特に平成27年度の第2号基本金は、平成21年度と比べて約2倍となっている。
- 翌年度繰越収支差額については、平成21年度以降マイナスの額で推移しており、年々収支差額のマイナス幅は拡大している。マイナス幅は、毎年約2億円程度拡大している状況である。

第1号基本金～学校法人が取得した校地、校舎、備品等の固定資産分を組み入れたもの

第2号基本金～将来計画に基づき、校舎の設置又は規模の拡充などに要する経費を組み入れたもの

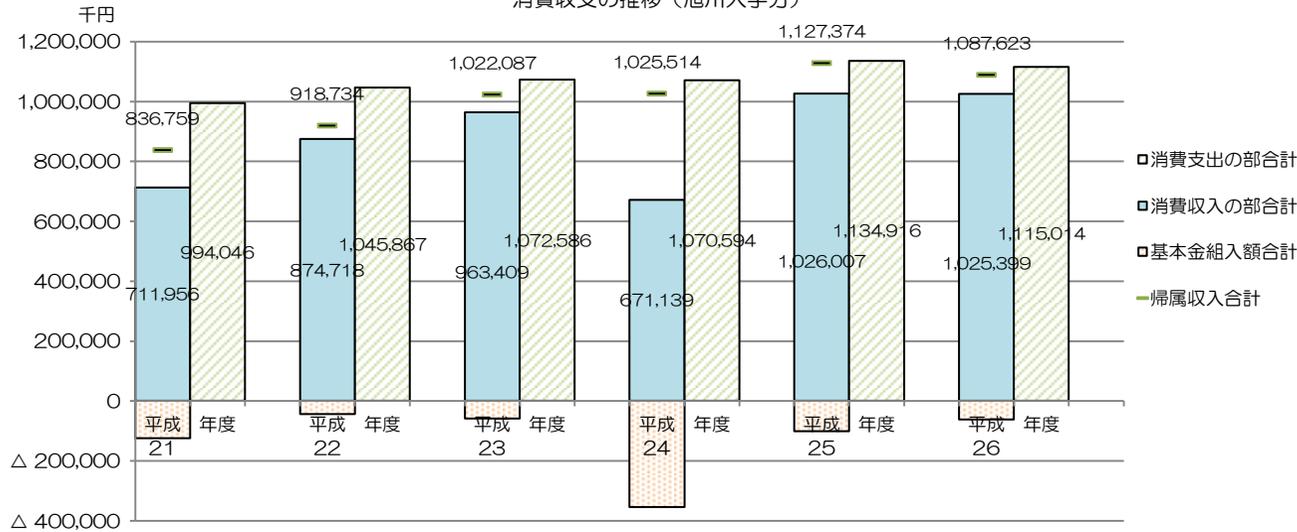
第3号基本金～基金として元本を継続的に保持し、運用果実を研究資金に充てることを目的としている金額を組み入れたもの

第4号基本金～学校法人の運営を円滑にする体制を構築していなければならないため必要な運転資金を恒常的に保持するために組み入れたもの

消費収支の状況

<旭川大学>

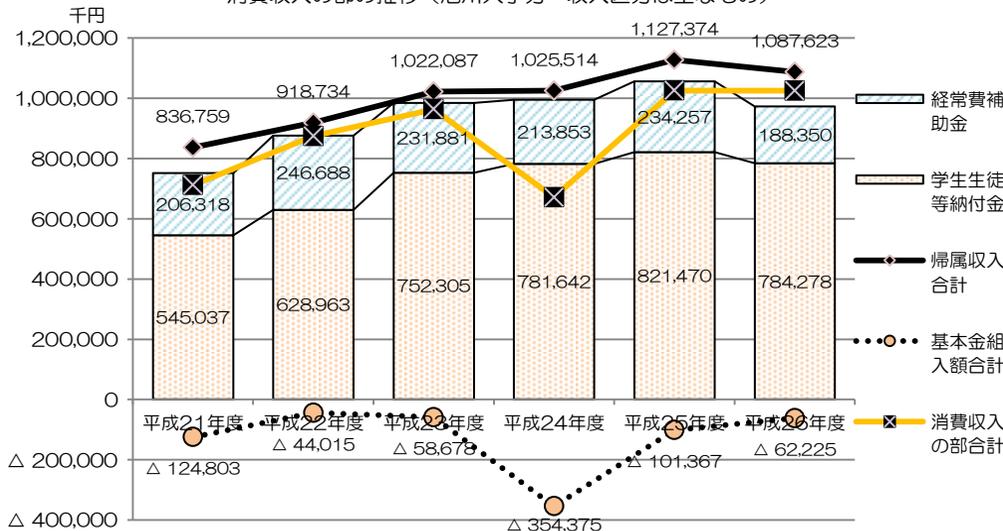
消費収支の推移（旭川大学分）



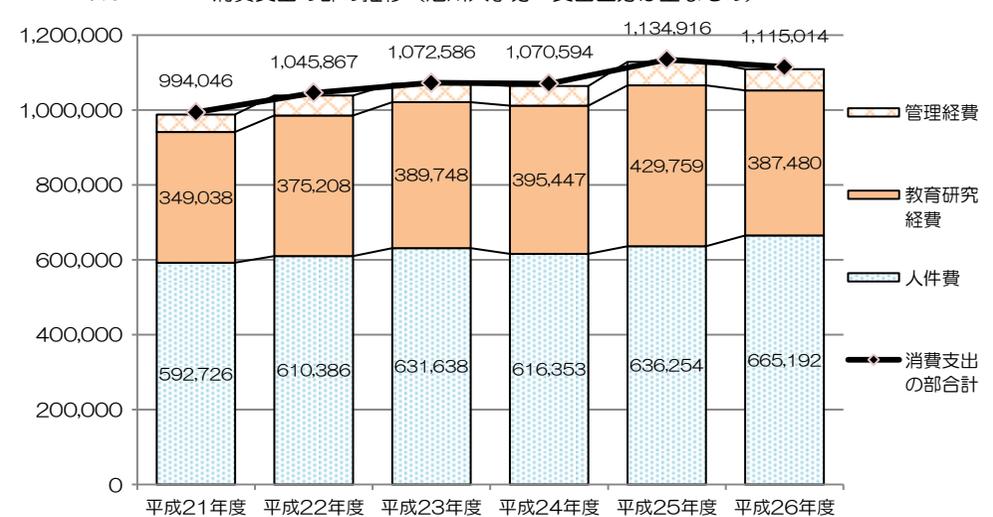
※左のグラフは、旭川大学から提供を受けた消費収支内訳表を基に、有識者懇談会への公表について同大学の承諾を得て作成したもの

- 消費収入のうち、学生生徒等納付金は8億円前後であり、経常費補助金は2億円前後となっている。
- 消費支出のうち、人件費は6億円台で推移しており、退職金支出が含まれているので一概には言えないが、最近3年間でみると増加傾向である。

消費収入の部の推移（旭川大学分 収入区分は主なもの）

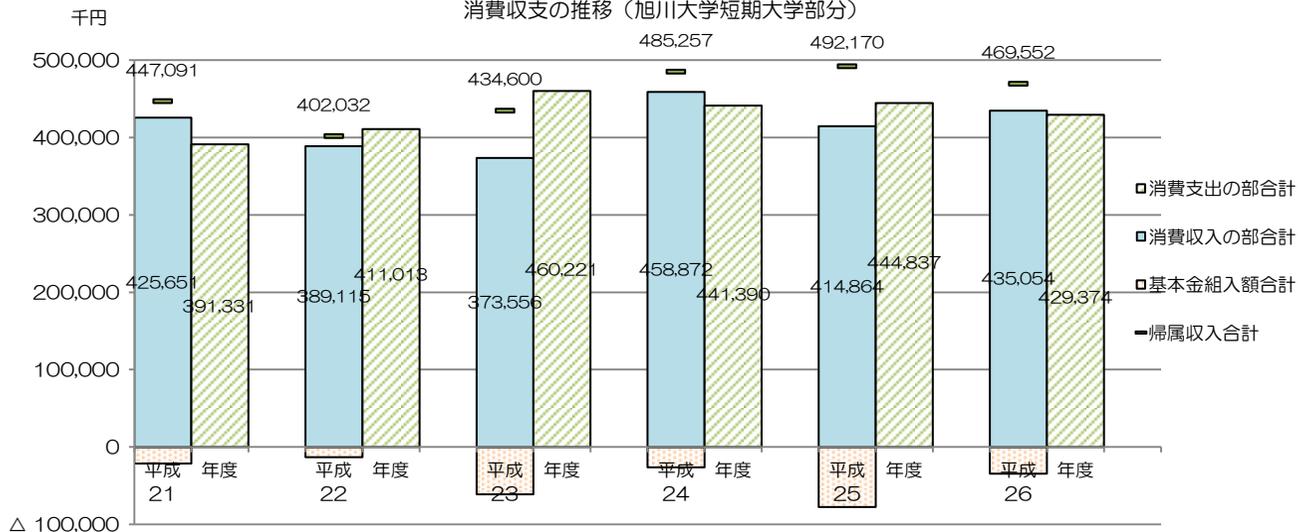


消費支出の部の推移（旭川大学分 支出区分は主なもの）



<短期大学部>

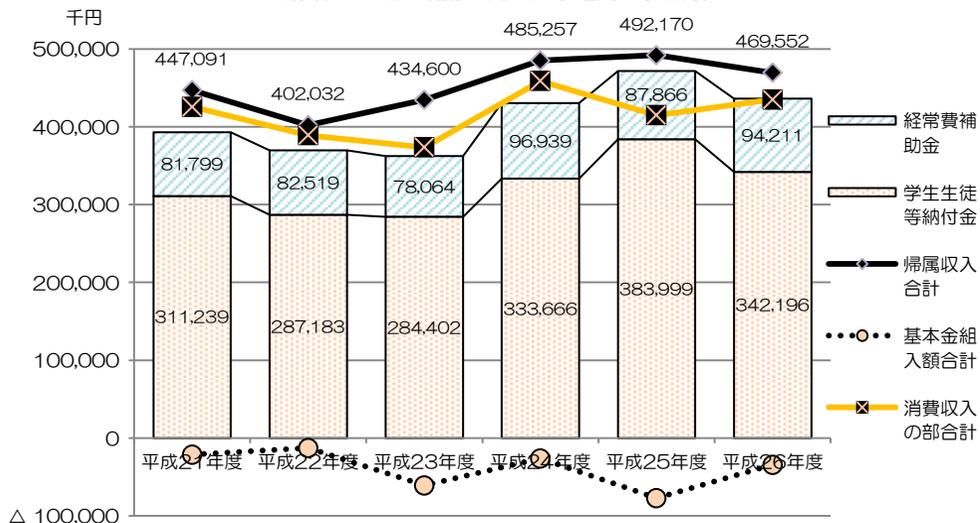
消費収支の推移（旭川大学短期大学部分）



※左のグラフは、旭川大学から提供を受けた消費収支内訳表を基に、有識者懇談会への公表について同大学の承諾を得て作成したもの

- 消費収入のうち、学生生徒等納付金は3億円台であり、経常費補助金は8～9千万円台となっている。
- 消費支出のうち、最近3年間の人件費は2.5億円前後で推移している。なお、人件費には退職金支出が含まれる。

消費収入の部の推移（旭川大学短期大学部分）



消費支出の部の推移（旭川大学短期大学部分 支出区分は主なもの）

